

【目標】

＜学習指導要領の目標＞		
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方・生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次の通り育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力，人間性等
探究の過程において，課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け，課題に関わる概念を形成し，探究の意義や価値を理解するようにする。	実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし，自分で課題を立て，情報を集め，整理・分析して，まとめ・表現でできるようにする。	探究に主体的・協働的に取り組むとともに，互いの良さを生かしながら，新たな価値を創造し，よりよい社会を実現しようとする態度を養う。
＜探究課題（学校テーマ）＞	多様性の研究	
＜学校目標＞	あらゆる分野の多様性についての理解を深めさせ，問題発見・解決能力，言語能力，情報活用能力を育成する。	

【生徒の実態】
○コミュニケーション能力が未発達であり，適切な人間関係を築けていない
○自主性・積極性に欠け，自己の可能性を十分に伸ばしきれていない

【保護者の願い】
○将来，社会人として自立するために，自分の夢や希望に向かって挑戦しつつ成長して欲しい
○規範意識や公正な判断力を身に付け，自分を律したくましく生きる力を身につけて欲しい

【内容】＜目標を実現するにふさわしい探究課題と探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力＞

学年			第1学年（3 5時間）グループ	第2学年（3 5時間）グループ	第3学年（3 5時間）個人・グループ
各学年の探究課題			○多様性・共生社会基礎＜ポロシリ＞ ○探究入門、障がい者理解、異文化理解など、前半はインプットに重点。多様性、共生社会の「今」を知り、「私」を知る。	○多様性と地域・SDG s ＜シシリムカ＞ ○多様性を尊重した持続可能な地域の実現に向けて探究する。	○共生・協働社会の実現に向けて＜ピラウトリ＞ ○より良い共生・協働社会の実現に向けて、私の立場で何をすべきか。「私の最適解」を探究・提案する。
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	知識	・他者を価値ある存在として尊重し，多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越えることが，豊かな心を育み，持続可能な共生社会につながることを理解することができる。	・地域の様々な取組とそれに関わる人々の思いや願いを理解するとともに，SDG s の視点から地域課題を理解し解決へ向けたアプローチをすることができる。	・これまでの探究の過程において身に付けた資質・能力を活用し，自らの興味関心をもとに探究活動を行うことで，より構造化され，生きて働く概念的知識を獲得する。
		技能	・調査活動や情報収集，目的や相手に応じたふさわしい関わり方などについて，それらの手順を様々な場面や状況で活用可能なものとして身体化し，安定的に発揮することができる。		
		探究的な学習の意義や価値の理解	・課題解決に向けて必要なことを自ら考え，探究を自律的に進めることができる。	・各教科等で身に付けた知識及び技能等を総合的に活用・発揮することで，学習が深化するよさを理解することができる。	
	思考力・判断力・表現力等	課題の設定	・自分たちを取り巻く社会に広く目を向けて，活動の意図や目的を明確にしたりして課題を見いだすことができる。 ・解決の方法や手順を考え，見通しをもって計画を立てることができる。		
		情報の収集	・目的に応じて手段を選択し，情報を収集し適切な方法で蓄積することができる。 ・他者の意見や課題解決の方向性から，必要な情報を取捨選択することができる。		
		整理・分析	・問題状況における事実や関係を把握し，分類して多様な情報にある特徴を見付けることができる。 ・事象や考えを比較したり因果関係を推論したりして考え，視点を定めて多様な情報を分析することができる。		
		まとめ・表現	・調べたり考えたりしたことをまとめ，相手や目的，意図に応じて論理的に表現することができる。 ・国語科や外国語科・情報科等で身に付けた技能を活用して表現することができる。		
	学びに向かう力，人間性等	主体性・協働性	・自分の意思や目標をもって，自他のよさを生かしながら協働して課題の解決に向けた探究活動に取り組もうとする。		
		自己理解・他者理解	・探究的な学習を通して自分の特徴やよさを理解するとともに，異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しようとする。		
		将来展望・社会参画	・進んで実社会・実生活の問題解決に取り組むとともに，積極的に地域の活動に参加しようとする。		

【学習活動】 ・1 学年では探究方法や情報分析方法を学ぶ。 ・地域の実態，生徒の実態を踏まえ，探究課題を設定する。 ・地域の人，もの，ことを生かした学習活動を行う。 ・異学年混同で意見交流する機会を設ける。 ・学習成果は外部に発信する。 ・年間1 ～2 テーマでの取組を基本とする。	【指導方法】 ・生徒の課題意識を連続，発展させる支援と工夫を行う。 ・個に応じた指導の工夫を行う。 ・各教科等との関連を重視した指導を行う。 ・体験活動を重視する。 ・言語により整理分析をしたり，まとめ・表現したりする学習を重視する。 ・協働的な学習を充実させるため，思考ツールを積極的に活用する。	【指導体制】 ・全校指導体制を組織する。 ・運営委員会における校内の連絡調整と指導体制を確立する。 ・メディアセンターとして学校図書館の整備・充実を図る。 ・地域の教育資源をデータ化，教材化するとともに，日常的な関わりを行う。 ・学校運営協議会と連携する。	【学習評価】 ・ポートフォリオを活用した評価の充実。 ・観点別学習状況を把握するための評価規準を設定する。 ・個人内評価を重視する。 ・指導と評価の一体化を充実する。 ・授業分析による学習指導の評価を重視。 ・学年末には指導計画を評価・改善し，次年度の計画に生かす。
---	---	---	---

【各教科等で育成する資質・能力】

国語	地理歴史・公民	理科	数学	外国語
・国語の特質を理解し適切に使用する能力 ・他者との関わりの中で必要とされる伝達力、思考力、判断力 ・言葉の価値への認識を深めることができる探求力	・我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関する理解 ・調査や諸資料から必要な情報を適切に読み取る技能 ・社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察する力 ・思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりする力	・自然の事物・現象についての理解 ・科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能 ・観察，実験などを行い，科学的に探究する力など	・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能 ・社会の事象などから設定した問題について，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力	・外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどの理解 ・これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 ・コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりする力など
音楽	保健体育	家庭	情報・商業	特別活動
・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり，音楽の多様性についての理解 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能 ・音楽表現を創意工夫することや，音楽のよさや美しさを味わって聴くことなど	・各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解し，技能を身に付ける。 ・運動や健康についての自己や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	・自立した生活にかかわる基礎的な知識の理解と，それらに係る基礎的な技能の習得 ・生活や社会の中から問題を見い出して課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善して表現するなどの課題を解決する力	・問題解決の一連の流れの際に得られた情報を文章や図などで可視化し，比較，組合せにより新たな情報を生み出す力。 ・問題解決の各場面や解決後に自ら振り返ったり他者に評価してもらったりして改善する力。	・多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについての理解と行動の仕方 ・集団や自己の生活，人間関係の課題を見いだし，解決するために話し合い，合意形成を図ったり，意思決定したりする力

【地域、他校との連携】

【地域との連携】 ・総合的な探究の時間の目標，内容，年間指導計画等の周知。 ・テーマに関係する役場，企業等への協力依頼。	【沖縄県立沖縄与勝高等学校との連携】 ・総合的な探究の時間の目標，内容，年間指導計画等の交流。 ・遠隔機器や対面での交流。	【北海学園札幌高等学校との連携】 ・総合的な探究の時間の目標，内容，年間指導計画等の交流。 ・対面でグルーブトークをしながら交流。
--	---	---